



北区の部屋だより

2026年 2月 第198号



刊行物登録番号 5-2-167

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 令和8年 2月発行



北・区
こぼれ話
第198回

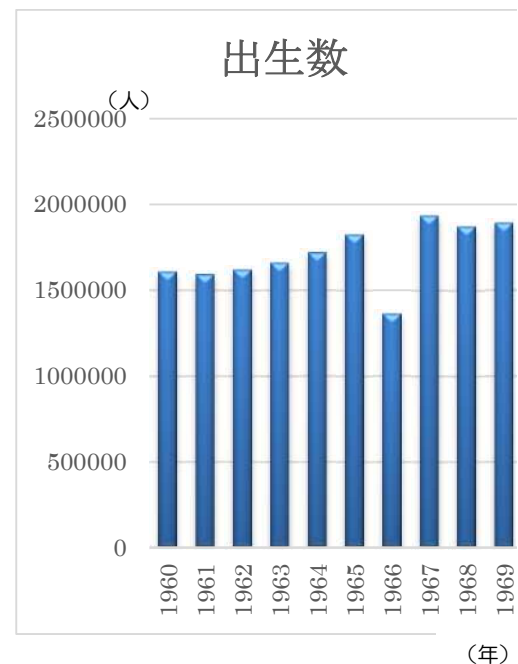
ひのえうま
丙午の話



右に示したグラフは 1960 年代の子どもの出生数を示したのですが、1966 年（昭和 41）だけ極端に少なくなっていることに気づきます。その理由については、ご存じの方も多いと思いますが、そう、丙午の年だからです。

丙午とは、60 年周期でめぐる干支の 1 つで 43 番目に当たります。陰陽五行説で「丙」も「午」も火の性質を持つと解釈されたことから、丙午に生まれた者は運氣が強く、特に女性は嫁いだ先の夫を早死にさせる、夫を食い殺す、といった迷信が生まれ、疎外する風潮が強まりました（今野圓輔「丙午」、『日本民俗事典』弘文堂、1972 年 601～602 頁）。そのため丙午の年の出産を控える人が多くなり、1966 年はそれが如実にあらわれる結果となったのです。この年に生まれた方はもちろん、近い年代で生まれ育ってきた方々は、丙午の年の学年だけ学級数が少なかったなど、身近な生活の中で実感したこともあるのではないのでしょうか。そして、今年は 60 年振りに訪れた丙午の年に当たるのです。

井原西鶴『好色五人女』（貞享 3 年＜1686＞刊）にも「我は世の人の嫌ひ給ふひのへ午」とあるように、江戸時代には定着していた俗信ですが、科学的に根拠もなく、取り分け女性蔑視を助長するような迷



「政府統計の総合窓口」

人口統計の各年次数値より作成

信として、時代の移り変わり、社会の変化とともに否定されていくのは当然の流れで、今となっては世間でもあまり騒いでいないような気がします。

とはいえ、実際に社会はどういった反応を示すのでしょうか。厚生労働省が前年の出生数を概数として発表するのは 6 月ごろであることから、2026 年のデータが発表されるのは 2027 年 6 月ということになるのでしょうか。まだまだ先のことですが、いったいどんな結果が示されるのか、今から非常に興味があるところです。

【地域資料専門員 保垣 孝幸】

北区の部屋
今月の展示

「^{たど}見えない水路を辿る」
～北区の暗渠～



日本化薬 KK (昭和 26 年 (1951)
手川文夫氏撮影

■展示期間 1 月 6 日 (火) ～2 月 25 日 (水)

■展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

先月に引き続き、歴史講演会「見えない水路を辿る～北区の暗渠～」
(令和 7 年 1 月 20 日 令和 8 年 2 月 21 日開催) の関連展示です。

※講座の申し込みは終了しています。

公開歴史講座

「江戸時代の人々の暮らしと文化
～かつての北区民のライフスタイル～」

江戸時代の北区域で暮らしていた人々はどうのような
日々を送っていたのか。古文書を通じて当時の人々の
生活に迫ります。

【日 時】 3 月 7 日 (土) 午後 2 時～4 時

【場 所】 中央図書館 3 階ホール

【講 師】 保垣孝幸 地域資料専門員

【対 象】 中学生以上の方

【定 員】 40 名(応募者多数の場合は区内
在住、在勤、在学優先)

【申込方法】 往復はがき(記入例参照)または下記の
申込フォームで 2 月 10 日 (火) (必着) まで。

※障害のある方で付添いを必要としている方は、

1 名のみ可。(申込の際、その旨ご記入ください)

※視覚障害のある方は電話申込可。

※聴覚障害のある方はファクス申込可。

(自宅にファクスがある方のみ。

返信もファクスのため)

※会場にはヒアリンググループ補聴援助システムが設置
されています。



耳マーク

はがき
記入例

(返信用表面)

申し込み方の

〒

住所

氏名

(往信面裏面)

講座名

〒 住所

氏名 (ふりがな)、

年齢、

電話番号

その他必要事項



申込フォーム

<申込・問合せ>

〒114-0033 北区十条台 1-2-5 中央図書館図書係

TEL (5993) 1125 / FAX (5993) 1044

開催しました!



親子で探検! 赤レンガのひみつ
中央図書館ナイトツアー

1 月 11 日 (日)、北区図書館活動区民の会
(区民の会) と図書館主催で、閉館後の夜の
図書館を見学する、小学生親子向けのイベン
トを行いました。今年は、赤レンガ図書館の
歴史のお話のほか、区民の会の「子ども部」
「ユニバーサル部」「地域資料部」「ドナルド・
キーン研究会」が小学生に楽しんでもらえる
出し物を用意しました。参加者からは「わら
べうたが面白く、もっと知りたいと思った」
「ユニバーサル部のお仕事に興味を持てた」
「普段は入れないところに入れて色んなと
ころを見られた」「めちゃくちゃ楽しかった」
といった感想をいただきました。



ライトを当てて手すりガラスを探している
ところです。